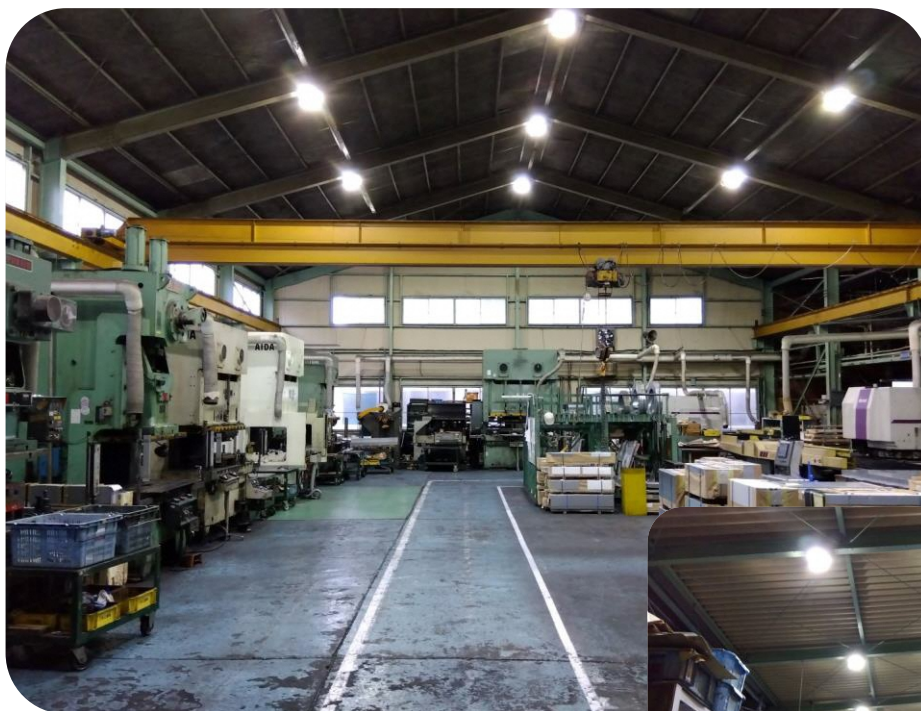


環境経営レポート

(対象期間：2022年7月～2023年6月)



藤枝工場内照明のLED化



2023年 10月10日発行 【第17版】

目次

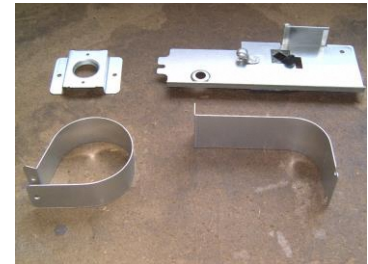
No.	項目	頁
1.	組織の概要	1
1. 1	会社概要	1-1
1. 2	沿革	1-1
1. 3	製品概要	1-1
1. 4	エコアクション21対象範囲	1-1
1. 5	経営方針	1-1
1. 6	敷地概要	1-2
1. 7	エコアクション21の実施体制の構築	1-3
2.	環境経営方針	2
3.	環境経営目標とその実績	3
4.	環境経営計画の実績とその評価	4
5.	環境経営目標の取組結果とその評価	5
6.	次年度の環境経営計画	6
7.	環境関連法規の順守状況の確認及び評価の結果 並びに違反訴訟等の有無	7
8.	代表者による全体評価と見直し・指示	8



1. 組織の概要

1.1 会社概要

会社名 : 八木工業株式会社
代表者 : 会長 八木 博
 : 社長 大川 悟(環境管理責任者)
設立 : 1969年12月
資本金 : 1,000万円
従業員数 : 50名
本社(登記上) : 静岡県駿河区小鹿3-8-7
藤枝工場 : 静岡県藤枝市横内800-19
敷地/延床 : 2,100㎡/1,500㎡
潮工場 : 静岡県藤枝市潮331-1
敷地/延床 : 1,626㎡/1,067㎡
TEL(藤枝工場) : 054-643-2033
FAX(藤枝工場) : 054-643-1242
メールアドレス : yagikogyo@po3.across.or.jp
環境管理責任者 : 大川 悟



プレス加工品



組立加工品

1.2 沿革

1954年9月 : 静岡市長沼にて「八木工業所」創業
1960年 : 静岡市小鹿に工場建設・移転
1969年12月 : 「八木工業株式会社」となる
1973年 : 藤枝市横内の藤枝工業団地内に藤枝工場建設・開設
1986年 : 静岡市登呂に登呂工場開設
1999年 : 登呂工場を閉鎖し、藤枝工場に統合
2007年12月13日 : エコアクション21認証・登録(No.0002075)
2014年 : 藤枝市潮に潮工場開設
2016年 : 本社の倉庫・出荷業務を藤枝へ集約



タレットパンチ・レーザ複合機

1.3 認証・登録の対象活動範囲(製品概要)

- ・家電(空調機・冷蔵庫等)・事務機器・建築等の金属部品の製造
プレス・板金・溶接・組立等各種加工
- ・試作品・開発品(非量産部品)の製作
タレットパンチプレス・レーザ加工機による板金加工
- ・金型製作
本型・仮型・試作型

1.4 エコアクション21対象範囲

- ・主たる事業所(認証・登録日)
藤枝工場 : 2007年12月13日
- ・対象事業所(対象開始日)
本社 : 2010年7月1日
(現在は登記上本社の為、対象範囲外)
潮工場 : 2014年7月1日

1.5 経営方針

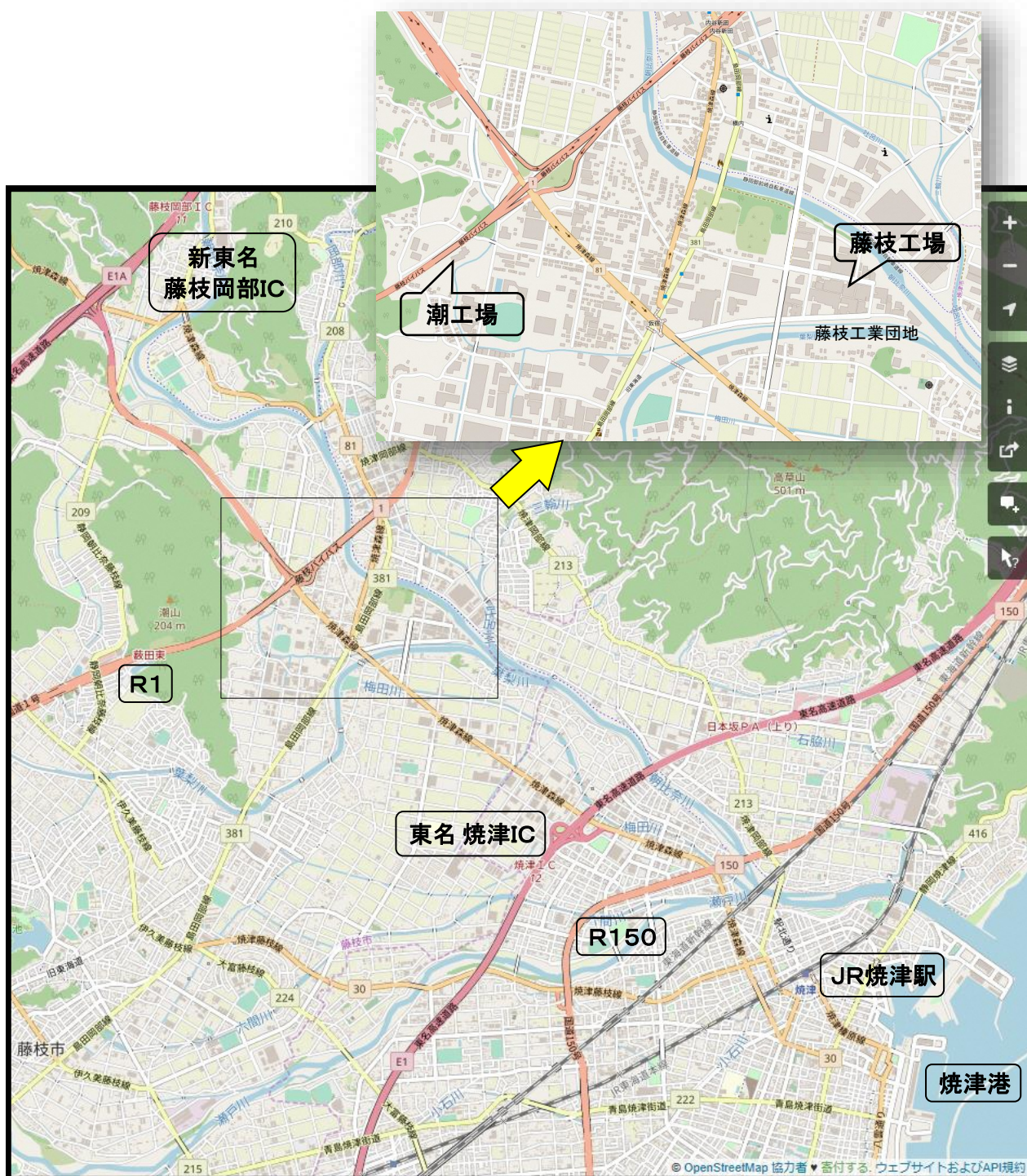
『多品種少ロットで
高品質製品の生産に対応』



タレットパンチプレス(自動搬出装置付)

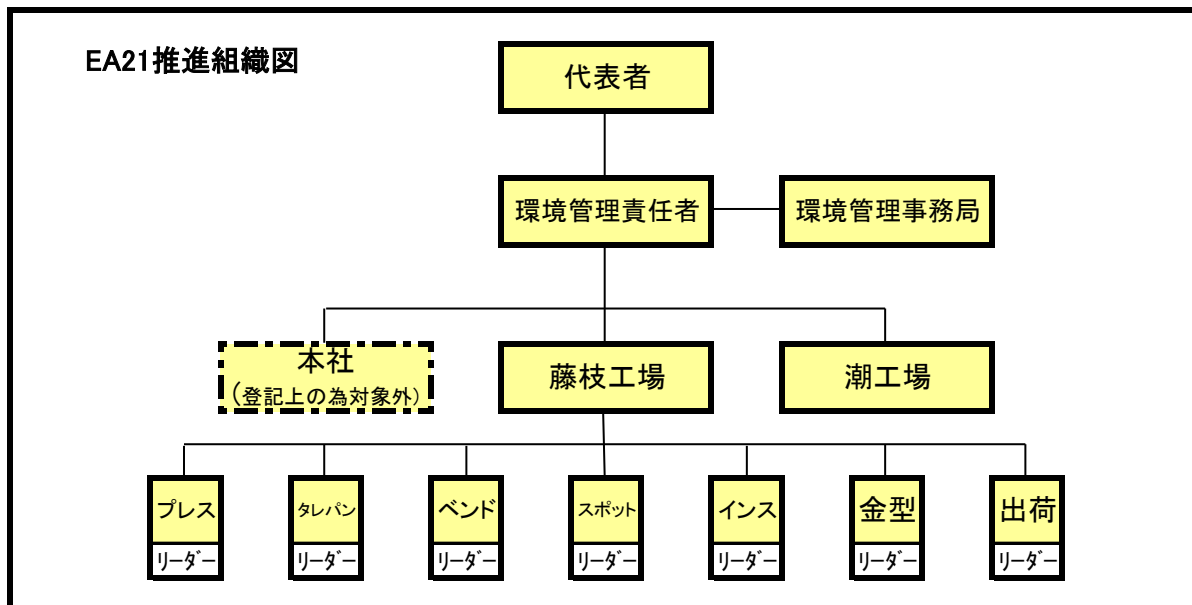
1.6 敷地概要

		藤枝工場	潮工場
都市計画法での用途地域指定		工業専用地域	市街化調整区域
静岡県生活環境の保全等に関する条例での地域指定	騒音	第4種区域	第2種区域
	振動	第2種区域の2	第1種区域の2



1-2.敷地概要

1.7 エコアクション21の実施体制の構築



環境経営システムの役割・責任及び権限

該当者	役割・責任・権限
代表者(代表取締役)	<ul style="list-style-type: none"> ・会社経営の一環として環境経営システムを統括する ・必要な人材・設備・資金・時間等を適切に準備する ・環境管理責任者を任命し環境管理システムの実務上の権限を委任する ・実施体制の構築と全従業員への周知 ・代表者による全体の評価と見直し・指示の実施 ・必要に応じて環境内部監査チームを設置し、監査の実施の指示する及び監査結果の対応を環境管理責任者に指示する ・緊急事態発生時の統括 ・経営における課題とチャンスの明確化
環境管理責任者	<ul style="list-style-type: none"> ・環境管理システム全体の構築・運用・維持に関する実務上の権限・責任を持つ ・社長への環境管理システム全体の構築・運用・維持の状況の報告 ・環境目標・環境活動計画の策定と見直し ・環境方針・環境目標・環境活動計画の遂行 ・環境関連法規等の取りまとめと見直し ・社長へ代表による全体の評価と見直しに必要とする情報を報告する ・環境経営レポートの作成 ・環境関連の対外的窓口 ・緊急事態発生時の指揮 ・中間審査・更新審査の受審査
環境管理事務局	<ul style="list-style-type: none"> ・環境管理責任者の役割全般の補助 ・環境経営システムの運用に係わるデータの収集・まとめ ・文書・記録類の管理
部門責任者(リーダー) リーダー不在時はサブリーダー	<ul style="list-style-type: none"> ・自部門の環境経営システムの運用・維持 ・社長・環境管理責任者の指示・命令の伝達 ・自部門の環境関連法規等の遵守の徹底と状況把握 ・自部門の環境関連教育の実施 ・問題発生時の応急処置・是正処置・予防処置の実施
従業員	<ul style="list-style-type: none"> ・環境方針・環境目標・環境活動計画等の環境への取組みの遂行 ・環境関連法規等の遵守 ・地域社会の環境施策・行事への参加など社会貢献 ・家庭でのエコ生活・子供への環境教育

2. 環境経営方針

環境経営方針

【基本方針】

八木工業株式会社は、空調機・冷蔵庫等の金属部品の製造を通じて事業活動に伴う環境負荷を把握し、持続可能な社会を実現するための会社づくりに取り組みます。

【環境保全への行動指針】

1. 創意工夫等に励み、数値管理等により継続的に環境負荷の削減に努めます。
 - ・ 電力や燃料の使用量節約に努め、CO₂を削減します。
 - ・ 3R（リデュース/リユース/リサイクル）に努め、廃棄物を削減します。
 - ・ 節水に努め、水使用量を削減します。
 - ・ 化学物質使用量を削減します。
 - ・ 製品サービスにおける環境配慮として、材料の歩留り率向上と不良発生率低減に努め、鉄スクラップ排出量の削減に取り組みます。
2. 環境コミュニケーションの一環として、人材育成及び社会貢献活動に取り組みます。
3. 環境関連法規等を遵守します。
4. 環境経営目標・計画を策定して実行するとともに、定期的に見直します。
5. 環境に配慮した生産活動を中心に、環境経営の継続的な改善を行います。
6. この方針を全従業員に周知して実行するとともに、一般に公開します。

2007年 5月 1日 制定
2020年10月 1日 改定

八木工業株式会社
代表取締役 八木 博

3. 環境経営目標とその実績

事業年度：7月～翌年6月

目標項目	推進責任者	単位	基準値		目標実績	目標値(対基準値比)と実績値				
			2018年度 (または任意)			2019年度	2020年度	2021年度	2022年度	2023年度
二酸化炭素排出量削減(省エネ)										
二酸化炭素総排出量 (二酸化炭素排出係数 2018年度 中部電力 0.452kg-CO ₂ /kWh)	大川	%	100%	目標	99%	98%	97%	96%	95%	
		kg-CO ₂	227,182		224,910	222,638	220,367	218,095	215,823	
		%	—	実績	95%	89%	90%	93%	0%	
		kg-CO ₂	—		216,006	201,754	204,809	211,925		
二酸化炭素排出量 (生産量1トン当たり)	大川	%	100%	目標	99%	98%	97%	96%	95%	
		kg-CO ₂	208		206	204	202	200	198	
		%	—	実績	122%	127%	117%	129%	0%	
		kg-CO ₂	—		253	265	243	267		
【参考】 生産量		t	1092.35		854.69	762.51	842.01	792.49		
廃棄物排出量削減(3R推進)										
一般廃棄物総排出量 (可燃ごみ、新聞紙、 雑紙、ダンボール)	大川	%	100%	目標	99%	98%	97%	96%	95%	
		kg	6,896		6,827	6,758	6,689	6,620	6,551	
		%	—	実績	75%	59%	55%	67%	0%	
		kg	—		5,179	4,046	3,812	4,597		
一般廃棄物排出量 (生産量1トン当たり)	大川	%	100%	目標	99%	98%	97%	96%	95%	
		kg	6.31		6.25	6.19	6.12	6.06	6.00	
		%	—	実績	96%	84%	72%	92%	0%	
		kg	—		6.06	5.31	4.53	5.80		
産業廃棄物排出量 (木くず、廃プラ)	大川	%	100%	目標	99%	98%	97%	96%	95%	
		kg	3,415		3,381	3,347	3,313	3,278	3,244	
		%	—	実績	69%	49%	82%	58%	0%	
		kg	—		2,350	1,670	2,795	1,990		
産業廃棄物排出量 (生産量1トン当たり)	大川	%	100%	目標	99%	98%	97%	96%	95%	
		kg	3.13		3.10	3.06	3.03	3.00	2.97	
		%	—	実績	88%	70%	106%	80%	0%	
		kg	—		2.75	2.19	3.32	2.51		
水使用量削減(節水)										
上水使用量 (藤枝工場+潮工場)	大川	%	100%	目標	99%	98%	97%	96%	95%	
		m ³	590		584	578	572	566	561	
		%	—	実績	102%	306%	98%	108%	0%	
		m ³	—		600	1,803	580	637		
化学物質使用量削減(PRTR制度対象物質削減)										
シンナーの購入量 (トルエン含有)	大川	%	100%	目標	96%	92%	88%	84%	80%	
		リットル	48		46	44	42	40	38	
		%	—	実績	67%	33%	67%	67%	0%	
		リットル	—		32	16	32	32		
製品・サービスへの環境配慮(自社テーマ)										
鉄スクラップ排出量 (再生資源)	大川	%	100%	目標	99%	98%	97%	96%	95%	
		kg	220,350		218,147	215,943	213,740	211,536	209,333	
		%	—	実績	91%	85%	86%	96%	0%	
		kg	—		201,070	187,630	190,440	212,190		
鉄スクラップ排出率 (仕入量に占める割合)	大川	%	100%	目標	99%	98%	97%	96%	95%	
		%	19		18.8	18.6	18.4	18.2	18.1	
		%	—	実績	101%	104%	97%	111%	0%	
		%	—		19.1	19.8	18.5	21.1		

4. 環境経営計画の実績とその評価

計画 ----▶ 実行 ----▶

事業年度:7月～翌年6月

目標・計画 項目	推進部門	実行責任者	2022年度 環境経営計画												実績 評価	
			7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	4月	5月	6月		
二酸化炭素排出量削減 (省エネルギー)																
1	機械・照明等の電源管理 終業時の切り忘れ確認	各部署	中藤工場長	各設備に正・副責任者を表示、照明スイッチには節電呼びかけを表示												○
2	エアコンの運転効率化 フィルターの定期清掃	各部署	中藤工場長	清掃・点検			清掃・点検			清掃・点検			清掃・点検			○
3	電力供給監視 システムの有効利用	事務所	大川社長	デマンド監視中の藤枝工場目標最大電力を135kWに設定し、契約電力を維持する												○
4	省エネ設備の推進 エコ家電・LED照明導入	事務局	大川社長	藤枝工場水銀灯のLED化検討・実施						潮工場照明器具のLED化検討・実施						△
5	エコドライブ推進 ムダの無い配送計画	配送	有賀GL	毎夕、配送会議を開催し、翌日の納品を把握、効率的な配送を心掛ける(燃費集計)												△
6	潮工場のCO2削減 GHPエアコン稼働管理	潮工場	松岡GL	GHPエアコンを効率的に稼働させる(過剰設定の管理等)												×
廃棄物排出量削減 (3R推進)																
7	ゴミの分別 分別化の継続	各部署	大川社長	分別の再徹底			再周知			状況確認			見直し			○
8	廃却木パレットの削減 納入元への返却	資材外注管理	鷲野・海野・本多	部品入荷時、パレットに入荷元の社名を記載し、確実に入荷元に引取ってもらう												○
9	コピー用紙の削減 ペーパーレス化	事務所	八木会長	資材管理システム等、パソコンを有効活用し、紙での出力削減												○
水使用量削減 (節水)																
10	水道水の節水 センサー式更新・漏水対策	各部署	松岡GL	潮工場漏水対策として、週末や連休前は元栓を閉める												○
11	トイレの節水 タンク内にペットボトル設置	各部署	大川社長	個室タンク内に設置中												○
化学物質使用量削減 (PRTR制度対象物質削減)																
12	シンナーの管理	各部署	中藤工場長	油類保管庫にて保管												○
製品・サービスへの環境配慮 (自社テーマ)																
13	鉄スクラップの削減(1) 歩留りの向上	プレス・タレパン	大川社長	「環境に関する提案票」制度利用の継続(褒賞金制度実施中)												×
14	鉄スクラップの削減(2) 不良発生削減	各部署	中藤工場長	不良発生・流出の削減(月毎に件数・内容集計、翌月礼にて報告、掲示にて見える化)												△
全体的な活動																
15	教育・訓練の実施(1) 従業員への周知・教育	各部署	大川社長	全体集会・更新審査												○
16	教育・訓練の実施(2) 緊急事態対応訓練	各部署	中藤工場長	訓練・教育実施				訓練・教育実施				訓練・教育実施				△
17	教育・訓練の実施(3) 生産性向上・品質改善	各部署	大川社長	問題抽出				改善				ピーク生産				△
18	BCP策定 パンデミックを想定	事務局	大川社長	新型コロナウイルス感染拡大防止対策の検討・実施・強化												△
19	働き方改革への対応 就業規則の刷新	事務局	大川社長	同一労働同一賃金ほか												×
備考			※黄色にて塗りつぶしの項目は、今年度の推進・強化活動												※評価について ○: 実行 △: 概ね実行 ×: 不十分	

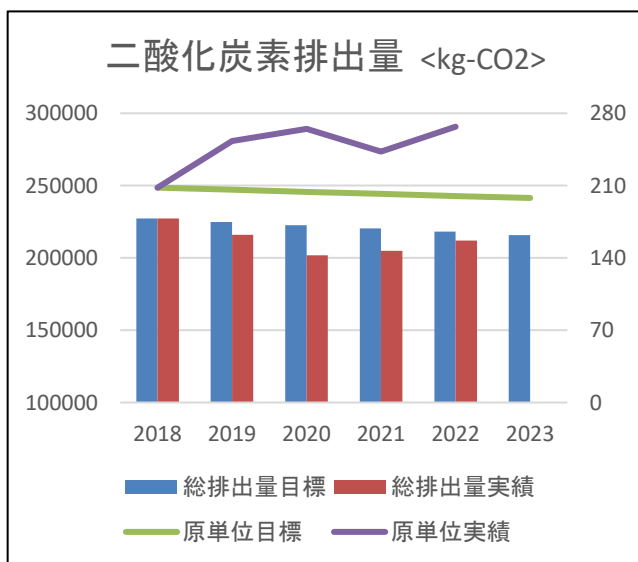
5. 環境経営目標の取組結果とその評価

事業年度: 7月～翌年6月

目標項目	単位		基準年度	前年度	本年度	取組結果 (実績率)	◎○:達成 △×:未達	備考 (前年度比)
			2018年度	2021年度	2022年度			
二酸化炭素排出量削減 (省エネルギー)		目標率	100%	97%	96%			
二酸化炭素総排出量	kg-CO ₂	目標値	—	220,367	218,095	93%	○	103%
		実績値	227,182	204,809	211,925			
生産量1トン当たりの 排出量	kg-CO ₂	目標値	—	202	200	128%	×	110%
		実績値	208	243	267			

購入電力(※)	kg-CO ₂	藤枝工場	121,263	107,994	108,759	90%	—	101%
		潮工場	20,589	16,600	19,551	95%	—	118%
化石燃料	kg-CO ₂	ガソリン	11,738	5,567	4,881	42%	—	88%
		軽油	43,797	44,655	46,388	106%	—	104%
		LPG	29,795	29,993	32,345	109%	—	108%

※二酸化炭素排出係数: 0.452kg-CO₂/kWh(2018年度 中部電力)

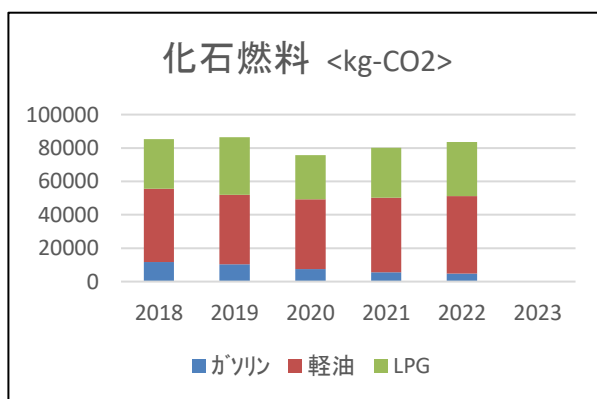
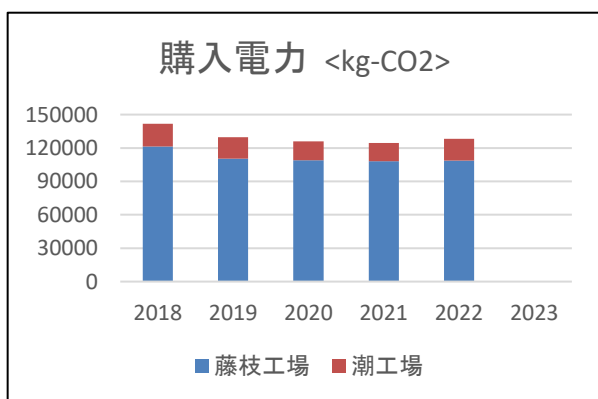


<評価>

- ・ 2018年度の実績値をベンチマークとして、目標値設定
- ・ 二酸化炭素総排出量は、昨年度と同様に前年度比では増加しているものの、目標は達成できている。
- ・ 二酸化炭素排出量(原単位)増加の要因として、潮工場組立軽作業員の増員による作業環境整備の為に照明器具の増設や空調稼働範囲の拡大が考えられる。
- ・ ガソリン減少は、フォークリフトの電動化推進による。
- ・ 軽油増加は、客先納入指示の細分化によって、自社トラックによる配送が増便となった事が要因と思われる。

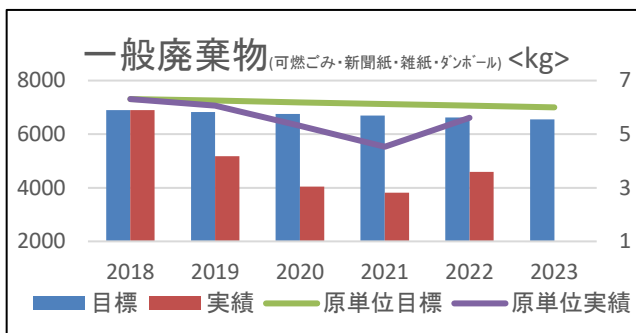
<見直し>

- ・ 本年度末から次年度半ばにて、水銀灯のLED化工事が完了する為、次年度の電力削減に繋がると思われる。
- ・ 次年度にて潮工場GHPエアコンの一部EHP化に取り組む為、LPG削減が期待できる。
- ・ 配送の効率化と潮工場GHPエアコンの使用管理について、引き続き強化していきたい。



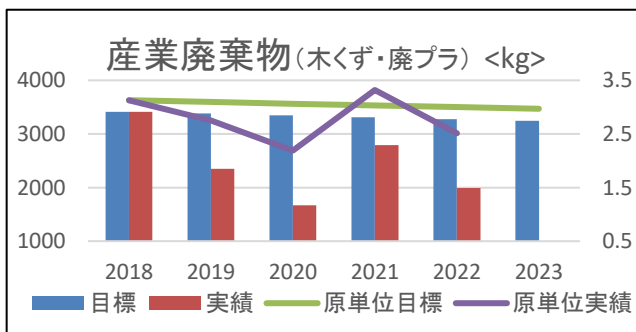
目標項目	単位		基準年度	前年度	本年度	取組結果 (実績率)	◎○:達成 △×:未達	備考 (前年度比)
			2018年度	2021年度	2022年度			
廃棄物排出量削減 (3R推進)		目標率	100%	97%	96%			
一般廃棄物(可燃ごみ、 新聞紙、雑紙、ダンボール)	kg	目標値	—	6,689	6,620	67%	○	121%
		実績値	6,896	3,812	4,597			
生産量1トン当たりの 排出量	kg	目標値	—	6.12	6.06	92%	○	128%
		実績値	6.31	4.53	5.80			

産業廃棄物 (木くず、廃プラ)	kg	目標値	—	3,313	3,278	58%	◎	71%
		実績値	3,415	2,795	1,990			
生産量1トン当たりの 排出量	kg	目標値	—	3.03	3.00	80%	◎	76%
		実績値	3.13	3.32	2.51			



<評価>

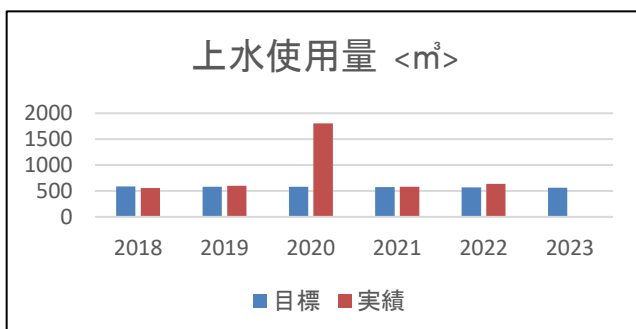
- 一般廃棄物については、総排出量でも原単位でも前年度比では増加しているものの、目標達成できている。
- 産業廃棄物については、総排出量でも原単位でも前年度比で減少しており、目標達成となった。



<見直し>

- 一般廃棄物については、引き続き分別の徹底、梱包・緩衝材の再利用推進により、排出量削減に取り組んでいく。
- 木くずについては、引き続き納入元への返却を続けていく。

目標項目	単位		基準年度	前年度	本年度	取組結果 (実績率)	◎○:達成 △×:未達	備考 (前年度比)
			2018年度	2021年度	2022年度			
水使用量削減 (節水)		目標率	100%	97%	96%			
上水使用量	m ³	目標値	—	572	566	108%	×	110%
		実績値	590	580	637			



<評価>

- 今年度は潮工場埋設給水管の破損による漏水により水使用量が増加したが、一昨年度の経験を活かして早期発見に繋がりを、微増に留まった。

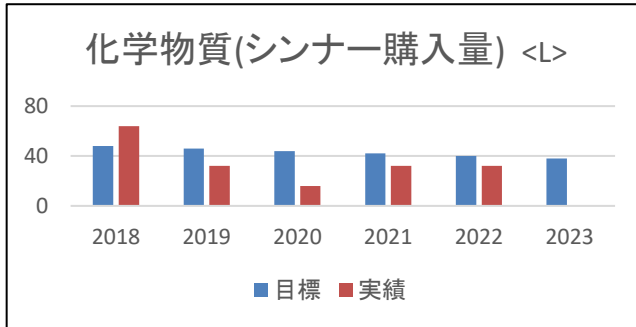
<見直し>

- 潮工場にて、毎日終業後に元栓を閉めて、不在中の漏水を防ぐ対策を継続する。

※ 水使用量のベンチマークは、過去の実績値を基に算出

5.取組結果(グラフィック)

目標項目	単位		基準年度	前年度	本年度	取組結果 (実績率)	◎○:達成 △×:未達	備考 (前年度比)
			2018年度	2021年度	2022年度			
化学物質使用量削減		目標率	100%	88%	84%			
シンナー購入量	リットル	目標値	—	42	40	67%	○	100%
		実績値	48	32	32			

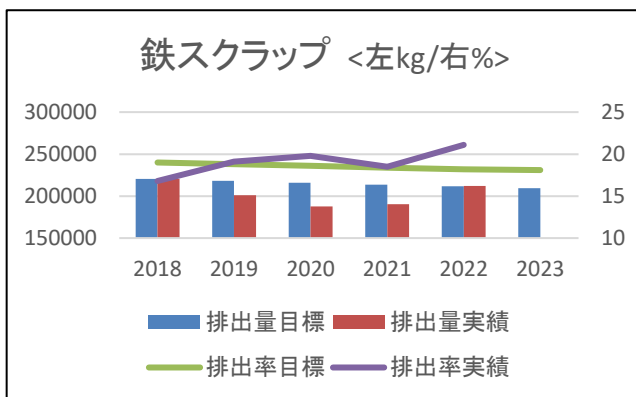


<評価>
 ・シンナーは1缶16リットル毎の購入となる為、増減幅が大きくなってしまいが、平均すると年1~2缶(16~32リットル)の使用となる。

<見直し>
 ・シンナーは購入量で算出する為、目標値での比較が難しいが、引き続き使用量削減に努めると共に、代替材の検討も行っていく。

※ シンナー購入量のベンチマークは、過去の実績値を基に算出

目標項目	単位		基準年度	前年度	本年度	取組結果 (実績率)	◎○:達成 △×:未達	備考 (前年度比)
			2018年度	2021年度	2022年度			
自社テーマ		目標率	100%	97%	96%			
鉄スクラップ排出量	kg	目標値	—	213,740	211,536	96%	○	111%
		実績値	220,350	190,440	212,190			
鉄スクラップ排出率 (排出量/仕入量)	%	目標値	—	18.4	18.2	111%	×	114%
		実績値	19.0	18.5	21.1			



<評価>
 ・前年度比で増加だが、排出量では目標達成となった。

・排出率増加の要因の1つとして、レットパンチプレスにて定尺材の加工が増えた事により、稼働率が優先され、歩留り率が低下した事が考えられる。

<見直し>
 ・定尺加工での歩留まり率向上や、不良発生率の削減、材料仕入量の圧縮等にて、効率化を進めていきたい。

※ 鉄スクラップ率のベンチマークは、過去の実績を基に算出

6. 次年度の環境経営計画

※次年度の環境経営目標は、中長期経営目標(2023年度)に基づき実行する。

計画 →

事業年度:7月～翌年6月

目標・計画 項目	推進部門	実行責任者	2023年度 環境経営計画												
			7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	4月	5月	6月	
二酸化炭素排出量削減 (省エネルギー)															
1	機械・照明等の電源管理 終業時の切り忘れ確認	各部署	GL	各設備に正・副責任者を表示、照明スイッチには節電呼びかけを表示											
2	エアコンの運転効率化 フィルターの定期清掃	各部署	GL	清掃・点検			清掃・点検			清掃・点検			清掃・点検		
3	電力供給監視 システムの有効利用	事務所	社長	デマンド監視中の藤枝工場目標最大電力を130kWに設定し、契約電力を維持する											
4	省エネ設備の推進 エコ家電・LED照明導入	事務局	社長	潮工場水銀灯のLED化検討・実施						潮工場GHPエアコンのEHP化検討・実施					
5	エコドライブ推進 ムダの無い配送計画	配送	GL	毎夕、配送会議を開催し、翌日の納品を把握、効率的な配送を心掛ける(燃費集計)											
6	潮工場のCO2削減 GHPエアコン稼働管理	潮工場	GL他	エアコンを効率的に稼働させる(過剰設定の管理等)											
廃棄物排出量削減 (3R推進)															
7	ゴミの分別 分別化の継続	各部署	GL	分別の再徹底			再周知			状況確認			見直し		
8	廃却木パレットの削減 納入元への返却	資材外注管理	事務所・出荷	部品入荷時、パレットに入荷元の社名を記載し、確実に入荷元に引取ってもらう											
9	コピー用紙の削減 ペーパーレス化	事務所	会長	資材管理システム等、パソコンを有効活用し、紙での出力削減											
水使用量削減 (節水)															
10	水道水の節水 センサー式更新・漏水対策	事務局	社長	潮工場漏水対策として、週末や連休前は元栓を閉める											
11	トイレの節水 タンク内にペットボトル設置	事務局	社長	個室タンク内に設置中											
化学物質使用量削減 (PRTR制度対象物質削減)															
12	シンナーの管理	各部署	GL	油類保管庫にて保管											
製品・サービスへの環境配慮 (自社テーマ)															
13	鉄スクラップの削減(1) 歩留りの向上	プレス・タレパン	GL	「環境に関する提案票」制度利用の継続(褒賞金制度実施中)											
14	鉄スクラップの削減(2) 不良発生削減	各部署	GL	不良発生・流出の削減(月毎に件数・内容集計、翌月礼にて報告、掲示にて見える化)											
全体的な活動															
15	教育・訓練の実施(1) 従業員への周知・教育	各部署	社長	全体集会・更新審査											
16	教育・訓練の実施(2) 緊急事態対応訓練	各部署	社長	訓練・教育実施				訓練・教育実施				訓練・教育実施			
17	教育・訓練の実施(3) 生産性向上・品質改善	各部署	社長	問題抽出				改善				ピーク生産			
18	働き方改革への対応 就業規則の刷新	事務所	社長	同一労働同一賃金ほか				健康経営の取組検討				若い人材の確保検討			
19	IoT・DX推進 デジタル化による業務効率化	事務所	社長	インボイス・電帳法対応				設備稼働状況可視化				ファイルサーバー等導入検討			
備考			<p>※次年度の環境経営計画の項目の大半は2022年度の継続であるが、その中で前年度から実行中の潮工場の省エネ化のLED照明等の導入を優先する。</p> <p>※黄色にて塗りつぶしの項目は、次年度の推進・強化活動</p>												

7. 環境関連法規の順守状況の確認及び評価の結果並びに違反・訴訟等の有無

【藤枝工場】

承認	作成
(八木)	(大川)

法規等の名称	適用内容	備考(規制基準値、その他)	遵守状況
・騒音規制法 ・静岡県生活環境の保全等に 保全等に関する条例	特定施設からの騒音に関する 規制基準の遵守 特定施設の届出	工業専用地域(第4種区域) 機械プレス等 計39台	◎
・振動規制法 ・静岡県生活環境の 保全等に関する条例	特定施設からの振動に関する 規制基準の遵守 特定施設の届出	工業専用地域(第2種区域の2) 機械プレス等 計23台	◎
・公害防止組織法	公害防止管理者(騒音・振動関係) の届出	非該当(用途地域により 特定工場に該当しない為)	—
・フロン排出抑制法	対象事業者該当	第一種特定製品の管理者	○
	対象設備の設置	パッケージエアコン 計8台	○
	対象設備の簡易点検	3ヶ月に1回以上	○
	定格出力7.5~50kWの設備の定期点検	3年に1回以上	—
	点検の記録	機器破棄後3年間まで保管	○
	フロン等の漏洩/報告の有無	無し/無し	○
・浄化槽法	浄化槽設置の届出	分離接触ばっき式 21人槽	○
	保守点検の実施/記録	年4回(2・5・8・11月)/3年間保管	○
	清掃の実施/記録	年1回(9/28実施)/3年間保管	○
	法定定期検査(11条検査)の実施	年1回(3/14実施)	○
	放流水質検査の実施	保守点検時実施	○
・廃棄物処理法 ・静岡県産業廃棄物 適正処理条例 ・藤枝市廃棄物の処理及び 清掃に関する条例	保管施設の表示と保管基準の遵守	表示板掲示(60*60cm以上)	○
	収集運搬業者及び処分業者との委託契約	契約書・業者の認可証	○
	委託契約書の保管	5年間保管	○
	マニフェストの交付・保管	5年間保管(A/B2/D/E票)	○
	マニフェスト交付等状況報告書の提出・保管	5年間保管	○
	委託先の現地確認とその記録の保管	優良認定業者による免除有り	○
・PRTR法	対象事業者該当(届出義務)の有無	無	—
	第一種指定化学物質取扱いの有無	有(シンナーに含有のトルエン)	○
	使用量の把握	シンナー購入の管理	○
	保管場所	油類保管庫	○
・消防法 ・志太広域事務組合 火災予防条例	貯蔵危険物の届出義務の有無	有(少量危険物に該当)	○
	危険物の種類	第4類(工作油・潤滑油・シンナー)	○
	使用量の把握	保管庫の容量以下にて	○
	保管場所	油類保管庫	○
・家電リサイクル法	小売店への料金支払い、機器の引き渡し 自治体指定の方法で引き取り	引き渡し書類	○

【潮工場】

承認	作成
(八木)	(大川)

法規等の名称	適用内容	備考(規制基準値、その他)	遵守状況
・騒音規制法 ・静岡県生活環境の保全等に 保全等に関する条例	特定施設からの騒音に関する 規制基準の遵守 特定施設の届出	市街化調整区域(第2種区域) 空気圧縮機等 計6台	◎
・振動規制法 ・静岡県生活環境の 保全等に関する条例	特定施設からの振動に関する 規制基準の遵守 特定施設の届出	市街化調整区域(第1種区域の2) 空気圧縮機 計1台	◎
・公害防止組織法	公害防止管理者(騒音・振動関係) の届出	非該当(届出している 特定施設が該当しない為)	—
・フロン排出抑制法	対象事業者該当	第一種特定製品の管理者	○
	対象設備の設置	GHPエアコン 計3台	○
	対象設備の簡易点検	3ヶ月に1回以上	○
	定格出力7.5~50kWの設備の定期点検	3年に1回以上	○
	点検の記録	機器破棄後3年間まで保管	○
	フロン等の漏洩/報告の有無	無し/無し	○
・浄化槽法	浄化槽設置の届出	小型合併式 10人槽	○
	保守点検の実施/記録	年3回(2・6・10月)/3年間保管	○
	清掃の実施/記録	適時(3/9実施)/3年間保管	○
	法定定期検査(11条検査)の実施	年1回(3/14実施)	○
	放流水質検査の実施	保守点検時実施	○

・環境関連法規の違反、訴訟等の有無

1. 遵守状況 : 当社に適用される環境関連法規の遵守状況を確認した結果、違反はありません。
2. 更新時期 : 毎年7~9月に実施します。
3. 苦情等の有無 : 外部からの苦情は、過去3年間ありません。
4. 違反、訴訟等の有無 : 関係当局からの指摘及び利害関係者からの違反・訴訟は、過去3年間ありません。

・遵守状況の確認及び評価の結果

藤枝工場及び潮工場共に、2023年10月1日に順守状況を確認しました。

評価者:環境管理責任者 大川 悟

8. 代表者による全体評価と見直し・指示

2023年10月10日

八木工業株式会社

代表取締役社長 大川 悟

1. 見直し関連情報	項目		確認	必要に応じて評価・コメント記載
	1	エコアクション21文書	○	2017年版ガイドラインへ移行済み
2	環境経営目標及び目標達成状況	○	総排出量・原単位共に悪化している項目があり、更なる見直しが必要と考える。	
3	環境経営計画及び取り組み実施状況	○	化石燃料の削減が進まない為、取り組み方法を見直す必要がある。	
4	環境関連法規要求一覧及び遵守状況	○	特に問題ありませんでした。	
5	外部コミュニケーション・対応記録	○	特に問題ありませんでした。	
6	問題点の是正・予防措置の実施状況	○	潮工場にて配管脱落により上水の漏水発生も、無事対応。	
7	取引先、業界、関係行政機関、その他の外部動向	○	IoT・DXによるペーパーレスや業務効率化を進めていく。	
8	その他(教育・訓練)	○	環境教育、消火訓練実施、コロナ対策継続	

2. 代表者による全体評価・見直し・指示	全体評価・コメント (環境経営システムの有効性、環境への取組の適切性等)		<p>・CO2削減の取組は、エネルギーコストの高騰が続く中で、本年度内にて藤枝工場内水銀灯のLED化完了に伴い、藤枝工場の電力使用量は基準年度比で10%減少し、省エネ設備更新の効果が現れてきたと認識している。</p> <p>・次年度に持ち越している、潮工場内水銀灯のLED化への設備更新、及び同事務所棟空調設備をGHPからEHPに切り替える工事も同時に着工予定であり、潮工場においても電力使用量やLPG使用量削減の取組を推進する。</p> <p>・CO2排出量は、これまでの省エネ設備更新等により、2018年(基準年度)から継続して経営目標を達成しており、経営計画等の取組は適切と判断している。</p>	
	見直し項目		変更の必要性	「有」の場合の指示事項等
	1	環境経営方針	有 <input checked="" type="radio"/> 無	2017年版ガイドラインへ移行済み
	2	環境経営目標・計画	有 <input checked="" type="radio"/> 無	基準年度見直し済み(2015年度→2018年度)
	3	環境経営計画・取組項目	<input checked="" type="radio"/> 有・無	毎年見直し・実行
	4	環境に関する組織	<input checked="" type="radio"/> 有・無	社内組織変更により、副環境管理責任者を廃止
	5	その他のシステム要素	有 <input checked="" type="radio"/> 無	変更無し
	6	その他(外部への対応)	有 <input checked="" type="radio"/> 無	変更無し